

協働

第12号2024年12月6日

町田市教育委員会

指導課長 大山 飛

発行：町田市学校支援センター

2地区・10地区 「クロームブック研修会の様子」

11月15日（火）教育センターパソコンルームにて、2地区のVC皆様とクロームブックの操作研修会を開催しました。今回のテーマは、基礎的な操作のおさらいと写真や記事をクラスルームで活用する方法についてです。また、活動月報や情報共有についても個別で学び、それぞれの課題を深め、スキルアップしました。次の週には鶴間小にて第10地区のクロームブック操作研修会を開催しました。こちらでも写真を撮ってクラスルーム



にアップし、コメントを添えて完成させました。ストリーム、授業、トピックと分け編集の仕方を学びました。どちらの研修会もVCの皆さんは真剣に取り組みました。質問も、数多く出て、皆で疑問を共有し操作性の向上に努めました。我々も、たくさんの方の事を学び、楽しい時間でした。学校支援センターでは、頼りになるPCの達人、阿部さんがいるので、難しい部分でも丁寧に説明でき、皆さんの理解を確認しながらゆっくり進めました。

他地区の皆さんも、学校支援センター主催、パソコン研修会にぜひご参加ください。ク

ロームブックの扱い方にどんどん慣れていきましょう。

2地区で行われた研修会で共通していたことは、和やかな雰囲気・クロームブックに触れることへのためらいが薄まっていくことでした。分からない、自信がない状況で触れることは不安が先に立ちますよね。クロームブック研修は、楽しく・安心して触れられることから、不安が解消されますよ。(文責：黒部, 天利)



地域学校協働活動フォーラム開催

「子供たちの豊かな出会いと学びのために」～そのために知っておきたい、学校と地域のかかわり方～

これからの教育課程の理念である、社会に開かれた教育課程を念頭に、学校と地域・社会との連携・協働について、区市町村教育委員会職員、学校運営協議会委員、統括及び地域コーディネーター、小・中学校教員、PTA 役員などの関係者が一堂に会し、共に学ぶ場として11月22日(金)都庁第一本庁舎5階会議室にて「地域学校協働活動フォーラム」が東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課・義務教育課主催で開催されました。当日の参加者は250名を超え、町田市からは、講師として宮島 GVC が1部ではモデレーターとして、2部の分科会ではパネラーとして参加いたしました。同時に、2地区の山口統括 VC と10地区の井上統括 VC も各分科会でパネラーを務め大活躍でした。ご準備から大変な作業をありがとうございました。本当に、お疲れさまでした。また、当日の参加者として、教育委員会代表として末原統括指導主事、管理係職員、また、チラシを見て参加して下さった校長先生方、コーディネーターの皆様とともに学校支援センター天利、黒部も参加させていただき、大変勉強になりました。

基調講演で講師の文部科学省初等中等教育局主任視学官 田村 学氏が、「学校運営協議会にとっての教育課程とは」のご講演中で話されたキーワードです。「子供は、自ら学ぶ、子供中心の授業」「子供たちに探求(活用・発揮)する力を養う」「有能な学習者を育てることを目指す」「発想の転換」がキーワードでした。特に「深い学び」の習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」が実現できているかの問いかけが核となっていました。宮島 CS アドバイザーは、校内組織のマネジメントを進めるために、管理職として考えること、井上 CS アドバイザーは、学校外との連携・協働、つまり地域学校協働活動を進めるために、コーディネーターとして考える立場として、それぞれ、鼎談に参加させていただきました。チームとしての価値の創造が大切だと実感しました。町田市では、全校に CS を導入し、地域学校協働活動との一体的推進を目指しています。町田市教育プラン24-28には、基本方針Ⅳ 地域とともに学ぶ力を高めるには、「地域資源を生かし、共創により学校を中心とした多様な学びが充実し学び続けることができている。」を目指す姿としています。今後、各校では、次年度の教育課程の編成が計画されており、各校が、承認された学校経営計画の基に、学校運営協議会の機能を発揮させ、PDCA サイクルを回しながら、学校評価が実施されます。ここでは、日常の経験や私たちが当然のことと受け止めている事柄について、「皆で探求し続けること」地域学校協働活動にかかわる大人たちが、この対話から、個々人が持つビジョンを互いに理解、共有化、絶えず問い直しを図ることが大切だと考えています。学校支援センターとしても今回の研修の学びを活かしながら、地域学校協働活動推進のため、価値ある伴走支援が継続できるようにしていきたいと考えています。「自ら学び、あなたと学び、ともに創る町田の未来」の実現のため、後期のマネジメントをどうぞよろしくお願いいたします。(文責：宮島)